

種名	カ ケ ス Garrulus glandarius 												
	スズメ目カラス科												
特徴	翼に青い羽を持った物まね上手な林の鳥。ユーラシア大陸の温帯を中心に広く繁殖し、日本でも北海道から屋久島までの全国で普通に繁殖し、冬には暖地へ移動するものもある。北海道に留鳥として分布するものは、頭上から顔が黄褐色の亜種ミヤマカケスである。												
生活	丘陵地から山地のいろいろな森林に広く棲息するが、よく茂った林を好む。繁殖期にはつがいで生活し、主に針葉樹の枝の上に、小枝や根で碗形の巣を作る。枝から枝へ飛び移りながら昆虫などの小動物を捕まえるが、小鳥の巣から卵や雛をとることもある。どんぐりを貯える習性を持ち、のどに入れて飛ぶ姿がよく見られる。越冬地では常緑広葉樹林やスギ植林などの暗い林に主に棲息する。												
声	特にさえずりといえる声はないが、他の鳥の鳴き真似をしたり、変わった声で鳴いたりするのは繁殖期に多いような気がする。地鳴きは「ジェージェー」といい、春期には群れを作ってやかましく鳴きかわすことが多い。												
見分け方	全身暗紫色に見え、腰と翼の白斑が目立つ。												
時期	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
その他	全長(L)33cm 翼開長(W)50cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													